

由水さん 夢の大切さを語る

「自分で自分の可能性を制限しない。
失敗してもいいから、とにかくトライ！」

ミュージカル俳優の由水南（ゆうすい・みなみ）さんが10月24日（木）に来校し、コミュニケーションの楽しさを体感する参加型セミナーを開きました。

由水さんは本校卒業後、アメリカの大学で演劇を学び、現在はニューヨークを中心にミュージカル界の第一線で活躍しています。

第一部の講演では、高校時代から夢を叶えるまでの経験を交えながら、生徒達に夢を持つ大切さを語りかけました。生徒たちは「It's up to you」、「Heart Connection」といった言葉に強く心を打



たれていたようでした。第二部は体を動かすワークショップ。生徒は対話や体を動かすゲームを通じて、心身を解放し、コミュニケーションの楽しさを感じたようでした。由水さんのキラキラしたエネルギーに満ち溢れた雰囲気の中、生徒たちは自分の未来が由水さんに負けない輝かしい未来になることを誓っていました。

生徒感想 今日で人生観が変わりました。同じ物事があったとしても、それをどう自分が捉えるかで今、そして未来が変わっていくとわかりました。辛いことほどチャンスだと受け止めて粘り強く努力できる人になりたいです。

生徒感想 自分に向き合うことが決切だとわかった。自分の心の声を聞き、その心のコンパスを通して行動することで、他の人の心の声に気づくことができる。これこそ思いやりだとわかった。

「人生観が変わった」「大切なのは心と心」「自分の心に問いかけたい」

生徒感想 このグローバルな世界で大切なことは心と心のコミュニケーションだと分かりました。国籍がみんなと違っていたとしても、心がつかれば、必ずどんな人とでもコミュニケーションがとれると思います。

生徒感想 一つ一つの言葉が心に響き、とても良い刺激になりました。胸に手をあてて、目をつぶり、自分の心に問いかけるというのは、自分の気持ちに素直になれるとても良い方法だと思ったので、毎日やってみようと思いました。

社会人と語る会 & 先輩に学ぶプレゼン術

「社会人と語る会」と「先輩に学ぶプレゼン術」は11月2日（土）、本校卒業生の社会人12名、大学生14名をお招きして行われました。

2年生を対象とした「社会人と語る会」では、各界で活躍する卒業生がそれぞれの仕事の内容や社会の状況をプレゼンした後、話し合うテーマを出題。生徒たちはグループでディスカッションし、発表しました。

1年生対象の「先輩に学ぶプレゼン術」では、大学生がそれぞれの大学の特徴や研究する学問についてプレゼンテーションを行いました。生徒たちは大学生の実際の生活や研究を学んだだけでなく、プレゼンテーションによって、相手に「伝える」方法を教わりました。



2年生感想 「自信は努力からしか生まれない」という言葉を胸に有意義な高校生活を残りの時間で送っていかうと決心しました。

1年生感想 大学に対する憧れは大きくなったし、大学に入るため、そして大学での授業をしっかりと自分のものにするためにも高校での勉強をさらにがんばっていきたくと思いました。

2年生感想 「常識にとられない発想力」。一見ありきたりな言葉のようにも思われた。しかし「常識を知らなければそれはできない」と言うもう一つの言葉を聞いて、自分の中でその言葉の捉え方が変わった。何か新しいものを創造するため、これから成長するためにも、今の世界をもっと知らねばならないとわかった。

2年SGコース海外研修

研究と自信を深めた1週間 発表や意見交換、ホームステイ…



2年SGコース米国海外研修は9月30日(月)から7泊8日の日程で行われました。

24Hの生徒がプリンストン高校やプリンストン大学、エコビレッジ・イサカなどを訪ね、現地の人たちに対して課題研究の発表や意見交換を行い、国際的な視点から研究を深めました。生徒にとって、体験活動やホームステイ等を経験し、多くのことを学ぶことができた充実の1週間となりました。

感想(プリンストン高校)
能動的に授業に参加する姿勢は日本人も見習うべきだと感じました。もっと自分を律する強い心をもって日常を過ごし、授業に参加しようと思いました。



由水南さんから学ぶ in NY



由水南さんのワークショップに参加。グローバルに活躍する先輩と汗を流しました。

感想(ホームステイ)

どんどん質問しようと思っていましたが、初めのころはなかなかできず苦戦しました。しかし、何度も挑戦して話しかけていくと会話のキャッチボールが続くようになり、聞いてきたいろんな質問も聞くことができるようになりました。聞く前からあきらめるのではなく、まず口を開き、笑顔で話し始めることを意識すると自然と気持ちも明るくなり、積極的にこなれたように感じました。家族が増えたようで幸せでした。



感想(エコビレッジ・イサカ)

アメリカのネオンがたくさん輝くタイムズスクエアを目のあたりにしたが、アメリカもエコを意識している場所があるんだなと思った。普段全くしない農作業の後、多くの生徒が「アメリカに来て初めて空腹を感じた」と口にしてた。フードロスなどについてただ調べるよりも、実際に農業を体験することで、食べ物のあるかたみを感じることができた。

研修の行程(米国国内分)

- 1日目：由水南さんによる英語ワークショップ
- 2日目：ニューヨーク市内グループ別フィールドワーク、国連大学訪問
- 3日目：プリンストン高校での授業、ホームステイ(2泊)
- 4日目：プリンストン大学キャンパスツアー
- 5日目：ホストバディとお別れ、コーネル大学日本語選択の学生有志によるキャンパスツアー、ユニセフ職員による講義
- 6日目：エコビレッジ・イサカにてレクチャー、ボランティア活動、課題研究に関する意見交換

感想(全体を通して)

課題研究を深めるうえで壁にぶつかったときはこの経験を生かして柔軟に対応したいです。世界で起きている問題に対して、自分にできることを考えグローバルリーダーとしてみんなを引っ張っていきたいです。

感想(全体を通して)

一人で対処しきれない人とのコミュニケーション力が身について、とてもいい経験になりました。

京都大学出前授業

京都大学高大連携学びコーディネーター事業
大学院生からSDGsについて学ぶ



グローバルリーダー養成講座第3弾「京都大学の大学院生に学ぼう」は10月23日(水)に開かれ、安藤悠太さん(大学院工学研究科)が「京大で考えるSDGs(持続可能な開発目標)」をテーマに話しました。「SDGsの目標になっていないジャンルは何か」という問いに対して、生徒たちは熱心に話し合い、SDGsへの理解を深めていました。講義終了後も生徒たちは熱心に質問し、SDGsや大学での研究に対する考えをより深めていきました。